

泥酔させた日は、
命を危険にさらした日だ。



#泥酔キケン #アルハラキケン

SNSには「#泥酔」で大量の投稿がある。酔いつぶれた友だちの写真などが、面白おかしくアップされている。そこには飲酒の強要があったのかも、見て見ぬふりをする人がいたのかも、飲まざるを得ない空気だったのかも。それらはすべてアルハラだ。そもそも泥酔とは、急性アルコール中毒の状態。脳のマヒだ。命を落とすことがある。つまり泥酔させたら、友だちを死なせてしまうかもしれない。泥酔はキケン。この機会に知ってほしい。



泥酔は急性アルコール中毒の状態。酔いの4段階を知ろう！

①



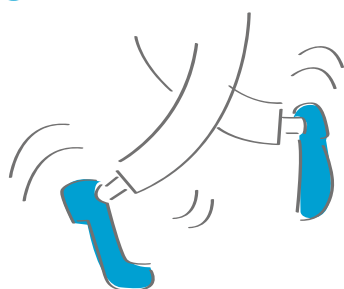
ほろ酔い（気持ちがほぐれる）

アルコールの作用で脳新皮質がマヒし、
理性の抑制がはずれてしまいます。
気分がほぐれリラックスしていますが、
脳のマヒはすでに始まっている状態。
酔っていないと思いがちですが、
この段階でも運転は厳禁。犯罪です。



このへんで
飲むのはやめよう
運転は厳禁！

②



酩酊（足元がふらつく）

脳辺縁系にマヒがおよんで
「酔っぱらい」状態になります。
同じ話を繰り返す、となりの人にかからむ、
ロレツが回らない、足元がふらつくなどの
症状が出たら、飲むのはストップ。
まわりも止めるようにしましょう。



まわりも
飲むのを止めよう
酔いをさまそう！

③

急性
アルコール
中毒



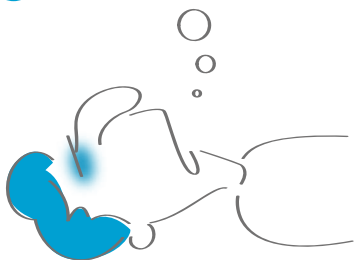
泥酔（酔いつぶれる）

脳全体にマヒが広がり、
脳幹や脊髄にもおよび始めます。
ぐったり「酔いつぶれた」状態。
吐いたものを気管に詰まらせて
窒息する危険があります。絶対一人にしない。
様子がおかしかったら病院に連れて行くこと。



酔いつぶれたら
絶対一人にしない

④



昏睡 → 死（何をしても起きない）

マヒが脳幹・脊髄から
呼吸中枢のある延髄に至った状態です。
叩いても、つねっても反応がなければ、
生死に関わる深刻な事態。
すぐ救急車を呼ぶこと。



昏睡と死は紙一重
反応がなければ
すぐに救急車を！

泥酔の危険性は、急性アルコール中毒だけではありません。
お風呂に入って溺死、路上で寝て事故死などの危険もあります。



泥酔の危険性をサイトでくわしく解説。
イッキ飲ませやアルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。

